

解説・字幕付き

人形浄瑠璃

二〇二四年度・二〇二五年度
地方公演ご案内

文楽

絵本太功記

©青木信二



物語を語る「太夫」、情景を音で表現する「三味線」、
一体の人形を三人で遣う「人形」、この三業が一つとなって
舞台から客席へ感動をお届けする、
日本が世界に誇る伝統芸能です。

■2024年度上演予定演目

昼の部

午後一時三〇分開演 (標準開演時刻)

解説 (あらすじ)

に にん さん ば そう
二人三番叟
え ほん たい こう き
絵本太功記
ゆう がお だな
夕顔棚の段
あま が さき
尼ヶ崎の段



尼ヶ崎の段

夜の部

午後六時開演 (標準開演時刻)

解説 (あらすじ)

ちか ごろ か わ ら たて ひき
近頃河原の達引
し じょう か わ ら
四条河原の段
ほりかわ さる まわ
堀川猿廻しの段



堀川猿廻しの段

■公演期間と地域

2024年

(令和6年)

10月公演

カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

2024年10月3日(木)～10月20日(日)

近畿・中部・北陸・関東・東北・北海道の各方面

※申込締切：2023年10月20日(金)

2025年

(令和7年)

3月公演

カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
23	24	25	26	27	28	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2025年3月6日(木)～3月23日(日)

九州・四国・中国・近畿・中部・関東の各方面

※申込締切：2023年11月24日(金)

■公演契約金

宿泊を伴う場合

- ◎平日 一日 3,630,000円(消費税込)
【消費税抜き本体価格 3,300,000円】
- ◎土日祝 一日 3,850,000円(消費税込)
【消費税抜き本体価格 3,500,000円】

大阪近郊で宿泊を伴わない場合

- ◎平日 一日 3,190,000円(消費税込)
【消費税抜き本体価格 2,900,000円】
- ◎土日祝 一日 3,410,000円(消費税込)
【消費税抜き本体価格 3,100,000円】

○原則として一日二回公演(昼の部・夜の部)を前提とした公演契約金を表示しています。ただし、同じ演目を一日二回上演すること、昼の部と夜の部の演目を入れ替えて上演することはできません。また二日間や三日間続けて上演したいなど、変則的なパターンをご希望の場合はお気軽にご相談ください。

■経費負担区分(主な目安)

公演契約金に含まれるもの	公演契約金に含まれないもの
●出演料 ●大道具費 ●大道具人件費(舞台監督料を含む) ●交通費 ●宿泊費(宿泊を伴う地域のみ) ●輸送費(通行料も含む) ●照明プランナー費(1名) ●字幕機材および字幕オペレーター費 ●著作権使用料(広報用写真素材の支給も含む) ●出演者および帯同スタッフの食事 ●事務経費 ●消費税	●公演にかかる会館使用料・楽屋使用料、付帯設備使用料および備品借用料(舞台管理経費および増員経費も含む) ●現地照明費(ピン操作のできる技量の方を3名)※ ●搬出入補助経費(5〜6名程度)※ ●本火使用等の所轄消防への禁止行為解除申請手続(使用時のみ) ●舞台上で使用する現地調達が必要な消え物(使用時のみ) ●音響経費 ●影アナウンス経費 ●広報および宣伝広告費 ●ケータリング費(出演者向けの簡単な茶菓の提供) ●主催者側スタッフ(現地手配スタッフも含む)の食事 ●券売および公演当日の表方の運営

※主催者様には現地照明係員3名、大道具の搬出入の手伝い5〜6名をご手配いただきます。
それぞれの手配ならびに経費は主催者様のご負担となります。



出演者によるあらすじ解説



字幕付き上演



物販用プログラム

■公演を成功に導くために

解説・字幕付き はじめての方にもわかりやすいです

- チラシ・ポスターは文楽協会で作成したものを、実費でお分けすることができます。
- 館内広報にお使いいただけるDVDをご用意します。
- 文楽って難しい? そんなイメージが一気に払拭でき、券売にも効果的な事前レクチャーの開催が可能です(日程・料金別途要相談)。

■公演のお申し込み締切

【2024年10月公演】 締め切り/2023年10月20日(金)
【2025年 3月公演】 締め切り/2023年11月24日(金)

主催事業がまだ決まらない…締め切りに間に合わない場合や上記締め切り後でもお気軽にご相談ください。また、予定していた主催事業の急な変更など、スケジュールがうまく調整できればお受けできる場合も多々ございますので、まずはご相談ください。

■助成について

本ご案内「文楽地方公演」は文化芸術振興補助金による助成が採択された場合、全国画一の公演価格で文楽公演を提供することが可能となることを前提としております。本ご案内については全国すべての会場における文楽公演について、一つの助成活動とした上で、助成を文楽協会が申請する予定です。従いまして、各会館様、財団様におかれましては、同種助成金(音楽堂活性等)・文化庁助成について申請をお考えの場合に、文楽公演部分については重複申請とならないようご注意ください。

■劇場機構条件

- ※一例ですので、条件に満たない場合はお気軽にご相談ください
- 舞台間口…8間以上(プロセシウム間口で)
 - 舞台奥行…4間以上(どん帳から)
 - 舞台袖…1間半(上手・下手ともに)
 - 吊り物バトン…4本程度(どん帳線より2間下がったところから舞台奥へ)
 - 貴館所有の平台と箱馬の数と寸法をお知らせください(間口8間、奥行2間、高さ1尺くらいの二重舞台を組める平台・箱馬が必要です)
 - 太夫台を上手客席に張り出します(どん帳ギリから高さ2.1尺、奥行5尺で長さ21尺の台を持ち込みます)ので、その分客席がつぶれることになります。
 - 基本的に乗り打ちとなります。夜の部の上演終了から片付け・撤収には2時間程度必要です。
 - 4トントラック二台が駐車できるスペースが必要です。

■お問い合わせ・お申し込み先

別紙(送り状裏)「文楽公演申込書」にてお申し込みください。舞台の平面図・側面図・照明設備図・客席図・楽屋図をご同封ください。

〈ご送付・お問い合わせ先〉

公益財団法人文楽協会

〒542-0073 大阪市中央区日本橋 1-12-10
TEL 06-6211-1350 FAX 06-6211-3609
地方公演担当 水落 学(みずおち)
e-mail : mizuochi@bunraku.or.jp

◇二人三番叟

能で特に神聖視される『翁』を義太夫節に移し、慶事に上演される『寿式三番叟』。その中から、二人の三番叟の舞を独立させました。義太夫節ならではの力強い響き。人形の躍動的な舞。足遣いの踏む足拍子と三番叟が振る鈴の音も心地よい、熱気あふれる舞台です。

◇絵本太功記

夕顔棚の段・尼ヶ崎の段

明智光秀が京都の本能寺に宿泊中の織田信長を滅ぼした「本能寺の変」(1582)を題材とする時代物で、寛政11年(1799)、大坂の道頓堀若太夫芝居で初演。当時刊行中の読本『絵本太閤記』の人気を受けて、近松やなぎほかが合作し、発端に、1日を1段として、光秀が謀反を決意する6月1日から命を落とす13日までの13段が続く構成になっています。

忠臣光秀は、“鬼の再来”と恐れられる主君春長の悪逆を諫めて、度重なる屈辱的な仕打ちを受け、6月2日、ついに本能寺を襲撃。光秀にとっては万民を救うための天誅でしたが、母

さつきは、主殺しなど断じて許せず、6日、逆賊との同居は汚らしいと、ひとり京を去り、尼ヶ崎へ。

謀反を知り、急遽、備中から軍勢を率いて都へと引き返す久吉。尼ヶ崎の近くで待ち受ける光秀勢。10日、さつきのもとを訪れたのは、光秀の妻操と息子十次郎、その許嫁の初菊。そして、宿を乞う旅僧も。その正体を久吉と察し、様子をうかがう光秀に気づく老母。

討ち死覚悟の十次郎が、悲しみを胸に初菊との祝言をあげ、出陣したあと、旅僧は、さつきに勧められ、風呂へ。外から竹槍で突く光秀。ところが、中にいたのは母。主殺しの罪深さを思い知らせるため、わざと息子の手にかかったのです。そこへ味方の敗北を告げに戻った十次郎は、絶命寸前。一夜も添うことなく夫と死に別れる初菊、我が子を失う操、二人の慟哭…。光秀は、涙も束の間、天王山での決戦を久吉と約束するのでした。

兵庫県尼崎市を舞台とする「尼ヶ崎」は、天下のための挙兵が家族に悲劇をもたらした光秀の苦悩と悲しみが胸に迫る、全編の山場です。

◇近頃河原の達引

四条河原の段・堀川猿廻しの段

京の二条河原での心中(1702?)で知られたおしゅん・伝兵衛に、四条河原での刃傷沙汰と、貧しい猿廻しが親孝行で褒賞されたことを絡めたとされる、三巻の世話物で、眼目は中の巻の「堀川猿廻し」。気はやさしくて臆病者、文字は読めなくても誠実に生きる猿廻しの与次郎を中心に、その日暮らしの貧しさの中、互いに思いやる家族と、その別れを描いています。天明2年(1782)、江戸の外記座で初演され、好評を博したこの段は、大坂で上演されたある時代物の猿廻しのくだりをもとにしたものですが、作者、成立等、作品全体についての確かなことはよくわかりません。

大名の御用を勤める伝兵衛は、相思相愛の祇園の遊女おしゅんに横恋慕した出入先の侍を殺してしまい、お尋ね者に。おしゅんの兄、猿廻しの与次郎は、目の見えない、病身の老

母を大切に世話する孝行息子。伝兵衛との関係で店からひそかに実家に戻された妹のことも、心配でなりません。母もまた同じ思い。伝兵衛が心中しに来たら…。二人は、おしゅんを死なせまいと、伝兵衛への離縁状を書かせ、一安心。

その夜、現れた伝兵衛に妹の手紙を突きつける与次郎。ところが、それは母と兄に宛てた書置きでした。あくまでも伝兵衛と死ぬ覚悟のおしゅん。残された家族の嘆きを思い、一人で死のうとする伝兵衛。けれども、大事な夫を見捨てては、女の道が立たないと、おしゅんは聞き入れません。

その思いに心動かされ、母は娘を伝兵衛と行かせることに。与次郎はめでたい猿廻しで二人を送り出すのでした。

「そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん」に始まるおしゅんのクドキや、悲しみの漂う猿廻し(華やかな旋律に乗せて、人形遣いが左右の手で一体ずつ猿を遣います)で有名な、人気演目です。

2025年度演目及び日程のご紹介 [注] 2025年度のみ、秋巡業を11月に実施します。



〈昼の部〉

解説 (あらすじを中心に)

義経千本桜

道行初音旅

新版歌祭文

野崎村の段



〈夜の部〉

解説 (あらすじを中心に)

近松門左衛門没後三百年

近松門左衛門=作 野澤松之輔=作曲・脚色

曾根崎心中

澤村龍之介=振付

生玉社前の段・天満屋の段・天神森の段

2025年
(令和7年)
11月公演
カレンダー [注]

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	1	2	3	4	5	6

2025年11月6日(木)～11月24日(月・祝)

2026年
(令和8年)
3月公演
カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

2026年3月5日(木)～3月22日(日)

各 位

2023年7月

公益財団法人文楽協会

大阪府中央区日本橋 1-12-10

TEL 06-6211-1350

FAX 06-6211-3609

拝 啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、(公財)文楽協会では全国の皆様方に、わが国の代表的な芸能「文楽」を身近に鑑賞していただくために、文化庁ならびに(独)日本芸術文化振興会の助成を得て、毎年10月と3月に「文楽地方公演」を実施しております。

2024年度文楽地方公演は次にご案内いたします馴染み深い演目で全国各地を巡演してまいります。

〈昼の部〉

に にん さん ば そう
二人三番叟
え ほん たい こう き
絵本太功記

ゆう がお だな あま が さき
夕顔棚の段／尼ヶ崎の段

〈夜の部〉

ちか ごろ かわら たて ひき
近頃河原の達引

し じょう かわら ほり かわ さる まわ
四条河原の段／堀川猿廻しの段

日頃、文楽に親しんでいただく機会の少ない多くのお客様から「浄瑠璃を聞きたい」、「まるで生きているような人形を見てみたい」というお声をたくさんいただいております。

この機会に太夫・三味線・人形三位一体で醸し出す「文楽」のすばらしさをより一層楽しんでいただけますよう、技芸員をはじめ文楽協会一同努めてまいり所存でございます。

なお、2025年度につきましては、変則的に2025年11月および2026年3月に巡演の予定をいたしております。日程および演目をパンフレット最終ページにご案内しておりますので、あわせてご検討賜れば幸いです。

日頃から「文楽」に深いご理解と温かいご支援をいただいておりますことに、改めてお礼申し上げますとともに、日本が世界に誇ります伝統芸能「文楽」を、どうぞご当地で開催していただきますよう、心からお願い申し上げます。

敬 具

2024年度 文楽公演申し込み書

※お申し込み締め切り：2024年10月公演は2023年10月20日
2025年 3月公演は2023年11月24日

公演希望日

公 演 月	順位	希 望 日	公演回数	備 考
10月公演	第1	月 日 ()		①公演期日は10月3日～10月20日を予定 ②公演回数は原則として昼・夜2回
	第2	月 日 ()		
	第3	月 日 ()		
3月公演	第1	月 日 ()		①公演期日は3月6日～3月23日を予定 ②公演回数は原則として昼・夜2回
	第2	月 日 ()		
	第3	月 日 ()		

☆全国各地区を順を追って公演しますので、希望日は参考とさせていただきます改めて日程調整をさせていただきます。
また土曜日・日曜日・祝日はご希望が多いため要望に添えない場合があります。

公演会場

名 称				
所 在 地	〒 (-)			
連 絡 先	電 話		FAX	

添付資料 (添付の場合は○印をつけて下さい)

図 面	有・無	備 考
舞台平面図		
舞台側面図		
照明設備図		
客 席 図		
楽 屋 図		

平台・箱馬数

平台	寸 法	台 数
箱	馬	

主 催 者

ふりがな		ふりがな	
名 称		担当者	
課 ・ 係等		E-mail	
電話・FAX			
ふりがな			
所 在 地			

お申し込み月日

年	月	日
---	---	---